

小美玉市立竹原小学校 学校長：根本 昌

【実施日時】	平成20年12月18日(木) 14:00~15:30
【参加者と人数】	第5学年63名
【コーディネーター】	佐藤 陽子
【講師】	チョーサ・マリ(フィリピン)
【活動内容】	フィリピンの国の紹介(簡単なあいさつの言葉・生活・食べ物・学校の様子・歌や踊り) ゲームであいさつ・3択クイズ・質問タイム・バンブーダンス 民族衣装の試着・展示物の見学
【参加者の感想】	国際理解の交流会を楽しみにしていた。講師の帖佐真理さんの日本語がとても上手でびっくりした。ダンスがとても上手だった。 フィリピンという国の名前は聞いたことがあるけれど、あいさつの言葉や生活の様子、食べ物、学校の様子など初めて聞き日本と違うんだなあと思った。フィリピンのあいさつが覚えられてうれしかった。 国によってあいさつの言葉は違うけれど、内容や気持ちは同じなんだなあとおもった。バンブーダンスは最初は難しかったけれどやってみたらおもしろかった、今度は行って見たいなあ。 フィリピンの衣装がとてもきれいだった。着てみたかった。
【担当者の感想】	児童は、講師の方からフィリピンのあいさつや生活、食べ物、学校の様子についての説明を聞いたり3択クイズなどをして楽しく学ぶことができた。特に、63名全員がバンブーダンスを楽しく体験することができ大変盛り上がった。このように、楽しく説明を聞いたり活動することを通して他国を身近に感じることができた。また、近隣のアジアへの関心も高めることができた。 講師の帖佐真理さんの説明のしかたやダンスがすばらしかった。また、母国に対する誇りと愛情が感じられた。このことは児童が自分の国、日本に目を向けることにつながると思われた。

